

ロシア大統領 V. V. プーチン殿

尊敬するプーチン大統領！

貴殿と小泉純一郎 日本国 内閣総理大臣との首脳会談に先立ち、我々は、会談の交渉プログラムにロシアと日本の原子力エネルギー分野における協力問題に関する検討を含めることを提案いたします。

我々両国間の協力は、これまでの経験に鑑み、また世界の持続的発展に寄与する原子力エネルギーの重要性に対する共通の認識のもとに、高い将来性を有しております。

原子力エネルギーに関し、その安全性と不拡散の重大性を鑑み、国家レベルで支持することが適当と思われる当面の協力の緊急課題を次に掲げます。

- 解体核兵器のプルトニウムから振動充填法による核燃料製造技術開発と実用化ならびにBN型及びその他の高速炉における燃焼
- ロシア太平洋艦隊の退役原子力潜水艦の安全な解体処分
- 二国間原子力分野の協力協定の作成と締結

当研究所と日本原子力産業会議の専門家でとりまとめた提言を添付いたします。

原子力分野におけるロシアと日本の協力の具体化は2000年に開催された国連サミットにおけるプーチン大統領のイニシアチブと、2002年のモスクワにおけるロシア-米大統領のサミット合意の更なる発展であり、日本、ロシア、全世界のエネルギーの安全性を促進するものと考えます。

ロシア研究センター「クルチャトフ研究所」

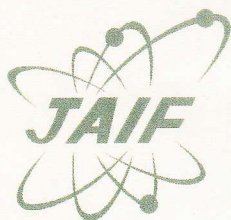
総裁 アカデミー会員

エフゲニー P. ベリホフ



**КУРЧАТОВСКИЙ
ИНСТИТУТ**

РОССИЙСКИЙ НАУЧНЫЙ ЦЕНТР



(社)日本原子力産業会議



КУРЧАТОВСКИЙ
ИНСТИТУТ

РОССИЙСКИЙ НАУЧНЫЙ ЦЕНТР

核軍縮と環境保全への貢献

— 解体核Puの燃焼と原潜解体等の日ロ協力を中心に —

核軍縮と環境保全への貢献

— 解体核 Pu の燃焼と原潜解体等の日ロ協力を中心に —

この日本とロシアの共同レポートは、(社) 日本原子力産業会議とロシア研究センター「クルチャトフ研究所」の専門家によって作成されました。

執筆者

(社) 日本原子力産業会議
日本、東京

森 一久
植松邦彦

(執筆協力機関)
核燃料サイクル開発機構
三菱重工業株式会社
日揮株式会社

ロシア研究センター
「クルチャトフ研究所」
ロシア連邦、モスクワ

E. P. ベリホフ
A. V. ブロドニコフ
N. N. ポノマリョフ ステプノイ
V. P. クズネツォフ

2002年11月